

とら こちら奈良市東部出張所です10月 No.96

目次：P1 東部出張所のお知らせ P2 自分ごと会議・国勢調査・セミナーのお知らせ P3 地域おこし協力隊 畑隊員 P4 地域おこし協力隊 森川隊員
編集・発行 【毎月1日発行】奈良市 東部出張所（奈良市大柳生町4735） TEL:0742-93-0001 FAX:0742-93-0061 E-mail:toububr@city.nara.lg.jp

秋の訪れを感じる今日この頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか。今年度も半年が過ぎ、日頃から市政にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、10月は秋祭りが各地で盛大に開催され、地域が一年で最も活気づく季節です。私もかつて春日大社の「采女祭（うねめまつり）」に携わった経験があり、その記憶が今も鮮明に残っています。お祭りは、地域の伝統を次世代に伝え、住民同士の絆を深める大切な行事です。

皆さまもこの機会に、歴史ある「采女祭」に足を運んでみてはいかがでしょうか。

これからも、皆様が安全で安心して暮らせるよう、地域との連携を大切にしていきます。ご意見ご要望がありましたら、お気軽に窓口までお声がけください。

奈良市東部地域がより良い地域になるよう、職員一同、力を合わせてまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願いたします。

東部出張所長 野口

東部出張所からのお知らせ

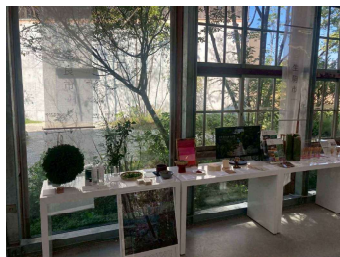
東部地域の魅力あふれる品々を「大阪・関西万博」へ出展しました

去る9月16日(火)と17日(水)の2日間、大阪・関西万博のシグネチャーパビリオン「Dialogue Theater-いのちのあかし-」の「森の集会所」で開かれた、奈良県主催イベントALL NARA HARMONY「感じる奈良展」に出展しました。

このイベントは、奈良の多様な魅力を、五感で楽しんでもらうことを目的としたもので、9月12日から25日のイベント期間中、県内各地の事業者や自治体によって、様々な商品が展示・紹介されました。

16日・17日に設置された奈良市ブースでは、「さとやま体験」に登録されている事業者の皆さまにご協力いただき、東部地域の素材を使った魅力的な産品を展示しました。2日間で約10,000人を超える多くの方にお越しいただき、大変盛況となりました。地域の魅力を直接お伝えすることができた貴重なイベントとなりました。

これからも、地域の魅力をより多くの方に知っていただけるよう、積極的に情報発信していきます。



イベントの写真是「さとやま」Facebookにも掲載予定です



采女祭 開催概要

【日程】

宵宮祭

10月5日（日）17:00～（采女神社）

例 祭（花扇奉納神事）

10月6日（月）

花扇奉納行列 17:00～（JR奈良駅～采女神社）

花扇奉納神事 18:00～（采女神社）

特別公演 篠笛奉納演奏「采女おとがたり」18:45～（采女神社）

管弦船の儀 19:00～（猿沢池）

【お問い合わせ】

采女祭保存会：0742-30-0230（平日9:00～17:00）

奈良市観光協会HP

<https://narashikanko.or.jp/feature/unemematsuri>

令和7年度 自分ごと会議について



自分ごと会議とは？

住民基本台帳から無作為に選ばれた参加者が、地域の身近な課題について話し合う会議です。地域の課題を住民自らが「自分ごと」として捉え、様々な立場の方が意見を出し合い、より良いまちづくりに繋げることを目的としています。



令和7年度の実施について

本年度の実施については、東部地区の自治連合会の皆さまと協議の上、東里自治協議会準備会（東里地区自治連合会）と共催で「みんなで描く、東里の2050ー東里の今を知り、将来をスケッチしようー」をテーマに実施することとなりました。住民基本台帳で無作為に抽出した東里地区にお住いの皆さまへ、①自分ごと会議参加のお願い、②アンケートを送付しました。書類が届いた皆さまは、ご多忙とは存じますが、是非とも会議へのご参加及びアンケートへのご協力をお願いいたします。

返信締切：10月15日（水）必着



令和7年度 国勢調査のお知らせ

9月号でもお知らせしましたが、今年は国勢調査の年です。

国勢調査の調査結果は、生活環境の改善や防災計画の立案など皆さまの生活に欠かせない、さまざまな分野で幅広く活用されています。現在、調査員による各世帯への調査を進めていますので、皆さまのご協力をお願いします。

回答期限

令和7年10月8日（水） ※期限後も回答可能です

回答には簡単・便利な「インターネット回答」をご利用ください

- ・紙の調査票を郵送する必要がありません
- ・スマートフォン、パソコンから24時間いつでも回答できます
- ・画面に沿って回答を進めるため、記入漏れの心配がありません
- ・回答を他の人に見られる心配がなくなります

自分ごと会議 運営協力 及び ファシリテーター研修 参加者募集

本年度の自分ごと会議をより良いものにするため、会議の運営や進行などをサポートして下さる協力者を、東部地域の皆さまから募集します。また、会議の進行役（ファシリテーター）にご興味がある方は、10/29に奈良市が職員向けに行う「ファシリテーター研修」に職員と一緒にご参加いただけます。皆さまからのご参加を心よりお待ちしております。

■奈良市ファシリテーター研修

【日時】10月29日(水) 13時30分～16時10分頃

【内容】

第1部（座学）ファシリテーターの役割を学ぶ

第2部（グループワーク）約4人1組で、テーマをもとに模擬自分ごと会議を行う

【場 所】奈良市役所 中央棟6階第1、第2研修室

【申込先】東部出張所（93-0001）

【申込期限】10月17日（金）



お問い合わせ

回答方法など国勢調査に関するお問い合わせはこちら

国勢調査 奈良市コールセンター 0120-787-030
10月31日(金)まで(8時30分～20時 土・日・祝も受付)

農業・地産地消 イベント・セミナーのお知らせ

～小さな行動が大きな未来へ～ 奈良の環境にやさしい農業を知る、考えるトークセッション

奈良の環境にやさしい農業をテーマに各登壇者の視点から、現在のリアルな奈良の環境にやさしい農業の姿について話します。未来の農業や食について、一緒に考えてみませんか。

【日 時】10月16日(木) 午後2時～4時（開場午後1時30分）

【場 所】ならファミリー6階 秋篠音楽堂(西大寺東町)

【登壇者】

笑い飯 哲夫さん
大石卓史さん・・・近畿大学農学部農業生産科学科 教授
山口貴義さん・・・有限会社山口農園 代表取締役社長
伊川健一さん・・・健一自然農園 代表

【定 員】270名

【費 用】無料

【申 込】10月10日(金)正午まで右記フォームから申込

※応募者多数の場合は抽選

申込フォーム



『おいしいぞ、奈良。』秋の地産地消フェア

市内で採れた新鮮な野菜を中心に、地元の魅力を届けるイベントを実施します。奈良市産農産物の試食提供やマルシェの他、特製メニューを提供する飲食ブースも設置。野菜ソムリエ上級プロの関宏美さんによるトークショーも開催します。秋の味覚がたっぷり詰まったこの機会に、地域の食を支える農業に触れてみませんか。

【日 時】10月18日(土) 午前11時～

【場 所】ならファミリー1階らくだ広場(西大寺東町)

お問い合わせ

農政課 0742-34-5142（平日9時～17時）

す・とうぶだより

10月

令和7年
(2025年)

過去の誌面



畑
隊員



8/16 東里ふれあい祭り

昔と比べて希薄になっている、地域のふれあいは大切です！奈良市東里地区自治協議会発足イベントが開催されました。

近畿大学農学部の2人が営むキッチンカー【きときや】がやって来て、丼ものを配布。長ーいそうめん流し。流行りの?猫メイク。動画上映会。東里の事業者やサークルの紹介。東里のことがよくわかる、東里ガイドブック配布。電球交換など地域のお困りごと解決、なんでも相談室。などなど…東里自治連合会長もこの気合いの入れよう！！※ネコではなく王者トラ！です。

大学生になって地元を離れている子たちも帰省し、プチ同窓会♪

会場の後片付けをして、最後は冷たく冷やしておいたジュースで至福の一杯!! 小さな子どもから90代まで、進化していく奈良市東里、はじまりのイベントでした! ♡

8/30水間子ども地蔵盆

自分で作った?花束を各自持参で現れた子どもたち ♡ お地藏様にお供えし、みんなで般若心経と地藏菩薩のご真言を唱えました。ご住職がわかりやすく誘導してくださり、お地藏さんや水間の長五郎さんのお話も! 全員のお焼香が終わったら、お待ちかねの! お地藏様と楽しむ会スタート!! お守り、念珠、金魚すくい、ヨーヨーつり、輪投げ、かき氷にフランクフルト、全員に豪華おもちゃが当たる大盛り上がりのビンゴゲーム!! 最後に分けていただいたお供物は、重くて持てないほどのお菓子やジュース! 約20人の子どもたちみんな、生き生きと笑顔あふれる、約2時間の地蔵盆・長五郎会式でした。

最後は皆で手を合わせ、お地藏様に、実行委員会の大人たちにも、ありがとうございます! ご住職や地域の方が教えてくださる、愛と感謝の地蔵盆。♡子どもたちの心や記憶に刻まれたんだろうなあと感じました。

各地域で秋祭り開催!

左記以外にも、各地域ではお祭りが行われます。
10月に行われるお祭りを紹介します。

◇10/19(日) 大柳生町秋まつり

みんなでわっしょい ♡ 神輿の担ぎ手を募集中! 神輿を担いで祭りを一緒に盛り上げませんか? (参加費をご用意しています)

【日 時】 10/19(日) 11時~16時

【申込期限】 10/12(日)

【集合場所】 11時に大柳生消防団第2班詰所
(大柳生口バス停前)

申込はこちら→



◇10/19(日) 阪原コスモス祭

毎年大人気! お芋掘り&コスモス摘み ♡ 南明寺特別公開やお餅つきも! 販売後あっという間に完売する枝豆を購入される際は、朝一でお越しいただくことがオススメです。

【日 時】 10/19(日) 9時~15時

【場 所】 阪原町ライオンセンター(阪原町818-1)

【問合せ】 平日 93-0513

土日 93-0174 (8時~12時)

◇10/12(日)

長尾神社(阪原町)

伝統の神事が執り行われます ♡

戸隠神社(須川町)

ポップコーン・綿菓子を無料提供します ♡

◇10/12(日)・13(月)・祝

八幡神社(水間町)

旧水間小学校の隣、小高い場所にある眼下に素敵な景色が広がる神社です ♡

◇10/18(土)・19(日)

春日神社(東鳴川町)

皆さまからの地域のイベント情報提供
随時お待ちしております ♡

★詳細やその他の地域レポートは【地域おこし協力隊】
Facebook・Instagramにて。



Facebook



Instagram

森川
隊員

着付け師 稲葉先生へ取材



日中は厳しい残暑が残るものの、夜は虫の音が聞こえ、秋らしさを感じるようになりました。

さて、先日、月ヶ瀬在住の着付け師、稲葉紀美子先生を訪ねました。稲葉先生は地域のデイサービスや施設を回り、簡単に着付けができる「二部式着物」を用いて、利用者の方々に喜んでいただいています。

この着物を活用するきっかけは、先生ご自身のお嬢様の成人式での経験でした。振袖を着せるのに1時間かかり、「もっと早く簡単に着物を着せられたら」と感じたそうです。

元々、寮母として働いていた稲葉先生。先輩からの「やりたいことがあるなら、ちょっと無理をしてもでも若い時にしたほうがいい」という言葉に背中を押され、働きながら着付けの免許を取得されました。さまざまな方に着付けをするうちに、身体が不自由な方や一人で着られない方にも着物を楽しんでもいただくため、上下に分かれている「二部式着物」にたどり着いたのです。私の目の前で、ものの数分で着物と帯をつけられる稲葉先生。見た目も普通の着物と変わりません。

ある施設で、利用者の方に着付けをしたときのこと。「その方の背筋がスッと伸び、笑顔になったのを見たとき、とても嬉しかった」と話す先生。その喜びを私も分けていただいたような気がして、大変幸せな気持ちになりました。有難うございました。

10月の活動予定 (9/19現在)

- ・SNS配信
- ・活動内容の検討
- ・地域の集まる場の企画 など

祖母との思い出



さて、現在奈良に住んでいる私ですが、これは奈良出身の亡き祖母が導いてくれたと強く感じています。祖母は大正14年生まれで、奈良県北葛城郡広陵町の出身でした。

実家が農家だったため、その苦勞を知っていた祖母は、女学校を出てすぐ小学校の教師になりました。

「戦時中、男の先生はみんな兵隊にとられ、女の教師だけで夜、学校の見回りをした」

「大阪大空襲の時、奈良から大阪の上空が真っ赤に燃えるのが見えた」

「昔は今よりおらからで、飛鳥の石舞台に遠足に行った時、子供たちとあの石によじ登ってお弁当を食べた」

料理をしながら、縫物をしながら、祖母は私に昔の思い出をいつも話してくれました。

私は3歳まで保育園に通わず、祖父母と自宅で過ごしました。「三つ子の魂百まで」と言いますが、今の私はこの時期に形成されたと感じます。何を美しいと感じ、何を好むか。どのような人を敬い、どのような人とは付き合わないか。それらはすべて、この時期に祖母から教わったような気がします。

小学校の教師だった祖母は、私にいつも童謡や唱歌を歌ってくれました。祖母が最も好きだった童謡は「野菊」でした。しかし、これは祖母の口から聞いたものではありません。

祖母が自宅で最後の日々を過ごしていた2021年3月、ある見知らぬ男性から祖母宛に一通の手紙が届きました。そこには、彼が50年ほど前、祖母の教え子だったこと、いつも颯爽と自転車に乗って、「おはよう」と子どもたちに声をかける祖母の姿が印象的だったこと、「これが先生の大好きな歌です」と黒板に大きく「野菊」の歌詞を書いて歌ってくれたことが書かれていました。そして、「もしお元氣であるなら、先生と一緒に「野菊」を歌いたい」とありました。私は大変驚き、男性に連絡をしました。祖母の命が残り少ないことを伝えると、男性はすぐに家まで来てくださり、祖母の枕元と一緒に「野菊」を歌ってくださいました。孫である私は、祖母の最期にこのようなことが起こったことに変な感謝しました。

それから数週間後、「野菊」の歌詞にあるように、気高く清く、祖母は96歳の生涯を終えました。今でも祖母と過ごした日々、私を包み込んでくれた優しさは、私の大きな支えです。